

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒800-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.21

平成25年 夏号

NPO法人 北九州テクノサポート 会長挨拶

石川 浩



昨年、10周年を記念しまして、これまでの10年間を振り返り、これからの新たな10年に向けての我々の課題・抱負等々につきましてフリーディスカッションを行い、5つの課題が提起されました。その具体的な対策に向けたワーキンググループを結成し活動に入っております。本年度は、会員の皆様の総力を結集して、鋭意検討を行い、実行に移していきたいと考えております。中でも緊急を要する課題として、「知名度向上と新規会員の確保」が挙げられます。

昨年末の政権交代に伴う金融緩和・財政出動により一時的には円安や株価上昇に転じ、明るさが見えてきた感がありますが、まだまだ、地域社会や産業界にとっては安心できる状態ではなく、一昨年の大震災からの復旧・復興と日本経済の再生には、これからも、官民挙げての取組みが必要です。北九州テクノサポートは、北九州地域の「ものづくり企業」の育成と発展について微力ではございますが、産学官連携やコーディネート活動を通じて地域の活性化を目指して行きたい。

更に、北九州地域の発展を支えるためには、環境を軸にした取組みが必要であり、省エネ商品など環境関連技術シーズによる新製品開発のコーディネート活動をはじめ環境経営のベースとなるエコアクション21活動の普及、テクノフェア展示会出展商品の販路開拓支援、産業人材育成フォーラムにおけるコーディネート支援などの取り組みを昨年同様に行っております。

ご来賓の諸機関並びに会員、賛助会員の皆様方のご指導とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

Topics.1 平成25年度 北九州テクノサポート総会を開催

平成25年6月20日(木)に北九州テクノセンターにおきまして、平成25年度総会(第11回)が開催されました。冒頭、石川会長の挨拶につづいて議長選出の後、次の3つの議案について報告、採択が行われ、すべて異議なく承されました。

- 第1号議案(平成24年度事業報告)
- 第2号議案(平成25年度事業計画)
- 第3号議案(役員改選)

平成24年度事業報告

第46回衆議院選挙は12月16日に投票され、自民党が294議席を獲得し、圧勝した。

政権交代によるデフレ脱却のための金融緩和・財政出動により、一時的には円安や株価上昇に転じ、明るさを取り戻した感があるが、地域社会や産業界にとっては安心できる状態ではない。

NPO法人北九州テクノサポート(KTS)は、この1年間さまざまな活動を行ってきたが、これからも「ものづくりの支援を通じて、産業振興に協力し、まちづくりに貢献する」を理念とし、中小企業及び行政機関や公的機関、大学・高専等と連携を密にして、夫々のニーズに即応した支援や協力・派遣・調査、研究会等を通じ、プロモーターとしての役割を果たし、日本経済再生化に向けて微力ながら、活動を展開してきた。

平成25年度事業計画

今年度、創立から11年目を迎えたNPO法人北九州テクノサポート(KTS)は、引き続き「ものづくりの支援を通じて産業振興を図りまちづくりに貢献する」を理念とし北九州の発展に貢献したい。

そのために、産学官連携支援、環境技術支援、ISO・EA21支援、IT支援、販売支援、広報支援、EA21地域事務局福岡の各推進グループに所属する会員が、保有する豊かな知識、経験、目利き力、人脈等のシーズをもって具体的かつスピード感をもって北九州の産業や学術界および行政・支援機関のニーズに対応したい。これらに共通する目的は、中小企業のさらなる振興と体質強化を図り、北九州を次世代型の産業都市にすることである。

具体的な事業計画は次項に示すが、基本方針は、海外展開を見据えた北九州地域のネットワークと連携の強化、それに基づく産学官やビジネスマッチング支援、技術開発・商品開発支援、IT開発支援、および北九州が標榜する地球環境保全の支援を通じて、安全・安心な住みよいまちづくりへの支援と貢献である。



NPO_KTS 会員他有志一同

役員紹介

平成25年7月1日現在

会長	石川 浩
事務局長	小林 敏郎
副会長	重藤将美、安東 静 藤原利久

支援Gr.長

事業企画Gr.長	石川 浩
産学連携支援Gr.長	石川 浩
ISO・EA21支援Gr.長	松尾民憲
環境技術支援Gr.長	藤原利久
IT支援Gr.長	安東 静
販売支援Gr.長	山本倅暉
広報支援Gr.長	重藤 将美
EA21事務局長	藤原 成種

理事

安東 静、石井 剛、石川 浩、影山隆雄
小林敏郎、重藤将美、堤 増美、藤崎正昭
藤原成種、藤原利久、松尾民憲、松隈 齊
山本倅暉、吉開 悟

監 事:後藤禎二、竜口康文

平成25年6月20日の総会にて理事が選任された。



平成25年度 NPO_KTS総会風景



NPO_KTS 懇親会風景

Topics.2



来賓挨拶：福岡県商工部長 今村 修二 様

北九州テクノサポートの記念すべき第11回通常総会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

北九州テクノサポートにおかれましては、国内有数のものづくり拠点である、北九州地域を中心に、ものづくりの支援を通じて「産業振興を図り、まちづくりに貢献する」との理念のもと、豊富な経験と知識・技術を有する先輩方の力を結集し、技術・経営や産学連携など様々な支援を通じて、本県産業の振興にご尽力いただいております。石川会長をはじめ会員の皆様には厚く御礼申し上げます。

北九州テクノサポートは平成15年の開設以来、環境やものづくりを中心に支援活動を強力に推進され、日刊工業新聞社主催の第1回ものづくり連携大賞特別賞を受賞されるなど、数々の実績を残されてきました。

平成21年からの「ビジネスマッチング支援事業」、さらには23年から福岡ものづくり産業振興会議の「ものづくりアドバイザー派遣事業」など、常に県内中小企業が抱える技術課題の解決にご尽力され、大きな成果を上げられてきたところです。

本県では、北九州市、福岡市と共に共同申請をした「グリーンアジア国際戦略総合特区」の指定を受け、環境を軸に成長著しいアジアの活力を取込み、アジアと共に成長発展していく所存です。今後は、この特区制度を大いに活用し、北九州市ともしっかりと連携しながら、我が国のグリーンイノベーションを先導することで、競争力の高い産業の集積を目指してまいります。引き続き皆様のご支援をお願い致します。最後に北九州テクノサポートのさらなるご発展と、お集まりの皆様のご健勝・ご活躍を心から祈念致します。

代読 福岡県商工部 新産業・技術振興課 課長技術補佐 櫻谷洋一 様

平成24年度 事業報告

平成24年度事業活動総括

本年度も福岡県や北九州市の支援を受けて、(財)西日本産業貿易コンベンション協会の「中小企業テクノフェアin九州2012」のビジネス・マッチング支援や福岡ものづくり産業振興会議の「福岡ものづくりアドバイザー事業」などの協同事業で大きな成果を上げた。さらに、エコアクション21地域事務局福岡の業務受託も9年目となり普及も一段と進んだ。

今年度は、北九州市のご尽力により、多くの建設業者のセミナー参加をみたことは特筆すべき成果である。

また、人材協力の面でも、引き続き九州工業大学、九州大学をはじめ各種の公的機関へも支援協力員を派遣するとともに、中小企業支援の市場調査も行った。

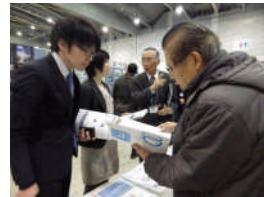
■主要活動実績は以下の通り

- ・福岡ものづくりアドバイザー事業へ協力支援
(福岡ものづくり産業振興会議)
- ・北九州地域産業人材育成に関する受託事業
(北九州地域産業人材育成フォーラム)
- ・「社会人ドクター」の地域プロモーション推進事業
(九州工業大学大学院生命体工学研究科)
- ・「中小企業テクノフェアin九州2012」販路開拓事業
(西日本産業貿易コンベンション協会)

- ・北九州商工会議所とのアドバイザー制度の再構築
(北九州商工会議所)
- ・エコアクション21導入セミナー
(北九州市環境局環境モデル都市推進室、福岡県環境部環境保全課)
- ・エコアクション21実践講座 計4期実施 (同上)
- ・エコアクション21フォローアップセミナー
(エコアクション21九州・沖縄ブロック)
- ・楽々ミニゴルフゲームの市場調査を実施
(株)楽々サービス
- ・広報誌(夏号/冬号)及び10年誌の発行の発行
(県、市、FAIS、大学、KTS賛助会員企業)
- ・北九州ソーシャルビジネスメッセ(パネル展示)
(北九州ソーシャルビジネスメッセ実行委員会)



■H25.3.11 産業人材育成フォーラム



H25.2.10 ソーシャルビジネス展へ参加

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.21広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



MONOLITHIC REFRACTORY



FINE CERAMICS

大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX: 093-883-2151
<http://www.taiko-ref.com>



産業廃棄物処理
プラスチックリサイクル
溶剤リサイクル

リサイクル診断 貴社の廃棄物のリサイクルの可能性を調べてみませんか？
簡単なQ&Aですので、お気軽にお試し下さい。

高野興産株式会社

本社 北九州市八幡西区御開2丁目5-1 TEL 093-691-2790
北九州エコタウン工場 北九州市若松区響町1丁目62-19

URL: <http://www.takano-k.com/>



本日はNPO法人北九州テクノサポート第11回通常総会の開催まことにおめでとうございます。このような会にお招き頂きまして本当にありがとうございます。北九州テクノサポート様は平成15年設立以来長年にわたり、OB人材である会員の皆様、豊富な経験と知識を生かして、地域企業の経営支援や産学連携のコーディネートなど幅広い分野におきまして活動され、当地の産業振興に大いに貢献頂いております。この場をかりて改めて厚く御礼申し上げます。NPO法人の前身のTS会は平成7年に当時の北九州テクノセンターの迎静雄社長が生みの親となって誕生したもので、OB人材の組織化の先駆けであったとお聞きしています。

さて、北九州市も含めまして昨年来、円高の是正・物価の上昇が進み、国内経済は明るい兆しが見えております。ものづくりのまち北九州市にとりましても業績改善、向上の期待が膨らんでいるのではないかと考えております。テクノサポートの皆様におかれましても地域経済の好転を実感されておられる方も多いのではないかと思います。北九州市でも今年4月に今後3年間の産業振興の指針となる新成長戦略を策定し、スタートしております。平成25年度から27年度まで3年間で8000人の雇用を創出し、また平成32年度までに北九州市内総生産を4兆円、これまでは平成9年の3兆9000億が北九州市の実績でしたが、それを上回る目標を掲げています。平成25年度の予算につきましては新成長戦略を推進する関連予算として1079億円を計上しております。現在プロジェクト推進の工程表を作成しております。ミーティングプロジェクト推進にスピード感を持って、今後進めていきたいと考えています。

また、北九州市は今年2月に市制施行50周年を迎えております。昭和38年に5市が対等合併して、政令指定都市になったことで公害克服、都市インフラ整備、高齢化対策など様々な分野で市民や企業、行政が一丸となってまちづくりを進めております。先ほど県の方も言っておられましたように、国から選定されました「グリーンアジア国際戦略総合特区」、また本市独自の環境未来都市の仕組みを活用しながら、本市の強みであります環境関連技術をグローバル展開して地域経済の活性化に取り組んでまいりたいと考えています。北九州テクノサポート様のさらなるご発展、並びに会場の皆様のご健勝・ご活躍を祈念しましてご挨拶とさせていただきます。

平成24年度 各支援グループの活動状況

1.産学連携関連の支援

1-1.平成24年度も23年度に引き続き、(公財)北九州活性化協議会より、「北九州地域産業人材育成フォーラム」における、大学生のインターンシップ先企業開拓業務を受託し、5名のKTS会員で地元企業215社を訪問した。

実績として、インターンシップ受入れ企業63社64コースの登録が確定した。また、学生は4校(下記)全体で156名のエントリーがあり、121名の学生がインターンシップを体験した。

- 1.九州工業大学
- 2.北九州市立大学国際環境工学部
- 3.西日本工業大学
- 4.北九州工業高等専門学校

(参考:H23年度実績は、訪問企業140社、受入れ企業32社33コース、学生59名学生がインターンシップを体験した)(重藤)

1-2.九州工業大学からは博士後期課程へ企業人就学を促すため、「社会人プログラム」を準備し、北九州地域企業に対するプロモーション活動の支援を、今年もKTSに依頼された。

今年は大学院生命体工学研究科に重点を置いて就学勧誘活動を行った。

訪問企業21社に対し、担当コーディネーター(5名)と大学側の担当教授と一緒に企業訪問した結果、応募の可能性が高い企業が8社、当面難しいが将来可能性のある企業が10社で、合計18社にニーズがあると考えられた。(小林)

1-3.福岡県中小企業団体中央会よりKTS会員8名に対し「平成24年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業に係る書面審査」の依頼を受け技術面の審査を行った。

審査状況 1.1次応募状況83件、1.2次応募状況233件

また、一部の会員は本件に応募する事業者に対し申請書の書き方に関する指導も行った。(山本)

2.環境技術関連の支援

「平成23年度環境ビジネス促進調査」事業を福岡県中小企業団体中央会より受託(実施調査内容は下記延べ30ページ)

- 1.我が国での環境に配慮した経営を行う企業の実態と環境エネルギービジネスの現状
- 2.北九州地区における環境に配慮した経営を行う企業と環境エネルギービジネスの現状
- 3.北九州地区における先進的な環境都市を目指す取組み
- 4.北九州地区での環境に配慮した経営を行う企業事例及び環境エネルギービジネス事例(市内中小企業8社)
- 5.総括(まとめ)小川 勝 理事監修

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.21広告3-4



当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです!

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有 蘭 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670
<http://www.arizono.co.jp/>



地球高温暖化対策、CO₂削減を目的として
「全面緑化「2度減システム」を推進します!



代表取締役
渡 邊 健 司
Kenji Watanabe

カースル 株式会社

URL:<http://www.casle.co.jp>

〒800-0115 北九州市門司区新門司1丁目9-6 TEL:093-481-1212

Topics.4



来賓挨拶:財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長 国武 豊喜 様

本日はNPO法人北九州テクノサポートの通常総会にお招きいただき、ありがとうございます。また、私共FAISの活動に対しましても、日頃からご支援・ご協力をいただいております。この場を借りて恐縮ですがお礼申し上げます。

さて、国におきましては、本格的な景気回復に向けた成長戦略が今月閣議決定されましたが、北九州市におきましても、先ほど西田局長さんからもお話しがありましたように、今年4月に、新しい成長戦略がまとめられました。その中で5つの方向性が打ち出されていますが、なかでも重要なのが、「地域企業が元気に活動し続ける環境整備」ではないかと思っております。皆様は豊富な専門的な知識・技術を備えた専門家集団として、平成7年前身のT・S会設立以来、地域企業、とりわけ中小企業の技術力強化など幅広い支援を精力的に行っておられます。私共もこれまで学研都市を中心とした技術開発の支援や、中小企業支援センターによる経営面の支援を行っていますが、市の成長戦略の重要な柱であります。「地域の中小企業が、この地でこれからも元気に活躍していただくための環境づくり」を進めていくという点から、私共も、皆様に後れを取らないよう、また皆様とさら

に連携しまして、取り組みを強めていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

ところで、市の成長戦略策定の背景の一つとしてあるのが、人口減少と高齢化の進展だと思っております。しかし、高齢化の進展は別の視点で見ますと、多彩な専門知識や技術、ノウハウを持たれたシニア層の厚みが増し、今後の市の活性化に向けて必要となる貴重な人的資源がさらに集積して行くことであろうかと思っております。その意味で、市の成長戦略を実現していくということからも、皆様のご活躍が一段と重要となります。皆様には、私共へのご支援も含めまして、さらなるお力添えをいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様ますます元気に活躍され、そしてそのことを通じて市がさらに元気になることを強く願ひましてご挨拶とさせていただきます。

代理 北九州産業学術推進機構 専務理事 佐藤恵和様

平成24年度 各支援グループの活動状況

3.ISO.EA21支援Gr.

平成24年度、ISO関連の認証取得コンサルティングは受注できなかった。ISOの内部監査員養成研修は11件受注した。

エコアクション21への事業者の関心を、自治体イニシアティブプログラムとして実施することにより喚起し、認証取得がすすんだ。このプログラムに協力して、グループ研修のコンサルタントを派遣し貢献してきた。具体的には、自治体イニシアティブプログラムを実施したのは北九州市、福岡県であった。企業や業界団体が主体となって普及活動を行うグリーン化プログラムは無かった。

また、エコアクション21の認知度向上、普及、及び認証取得事業所PRを目的に「エコアクション21たより(KTSニュース瓦版)」の7号を発行した。本年も相互研鑽に努め、エコアクション21の審査レベル向上を目的として合宿研修も含め5回実施した。なお今年度末はISO・EA21支援Grの役員改選の時期であり、新役員にGr長に松尾民憲氏、副Gr長兼会計に松隈斎氏、幹事に延原健次氏、小川勝氏を選出した。任期は25年4月から27年3月まで。

4.販売支援Gr.

1.平成24年度「中小企業テクノフェアin九州2012」出展企業の商品販路拡大支援を行った。

実績の概略は、事業参加者12名、展示企業37社、来場企業72社、商談実績は(成約1社、見積10社)に上り、年々販路開拓に貢献した。



2.デイサービスを主体に室内ゲームへの関心度を調査:市内訪問介護(デイサービス)施設10カ所の室内ゲームへの関心度の実態調査を行った結果、8割強の施設が高い関心を持たれていることが分かった。

5.IT支援Gr.

主に中小企業を対象としたIT支援事業を推進・活動した。その中で小倉北区の計量士会、Y社のホームページの一部改新及び追加を支援した。NPO内IT支援事業として、インターネットによる広報事業及びKTS内ITシステム管理は従来どおり推進した。

6. 広報支援Gr.

NPO法人北九州テクノサポートの目的及び組織、事業のPR・広報について平成19年夏から全面的にリニューアルした「北九州テクノサポート通信」の内容の充実と賛助会員並びに広告会員の獲得に重点を置き活動した。

- (1)会報「北九州テクノサポート通信」(年2回発行)の紙面刷新と広告支援企業の広告デザインを一新し、配布の迅速化を図りバックナンバーを全てホームページに公開した。
- (2)当法人10周年を迎えるにあたり「10周年記念誌」(28ページ)を発行。
- (3)「中小企業テクノフェアin九州2012」展示ブースを開設した。H24.10.11-13
- (4)北九州ソーシャルビジネスメッセに参加した。H25/2/10



7. エコアクション21地域事務局 福岡

- 1.北九州市実践講座及び福岡県集合コンサルティングを4回開催し、32事業者が参加した。講座に先駆けて導入セミナーも4回開催し、71事業者の参加をみた。
- 2.事業者からの審査申し込みは、新規登録審査31事業者、中間審査93事業者、更新審査114事業者であった。申請を受け、担当審査人を選任し、判定委員会を毎月1回開催の上審査結果を審議判定し、審議判定結果を中央事務局宛報告した。
- 3.認証・登録制度発足以来初めて、エコアクション21認証取得事業者フォローアップセミナーを開催した。33事業者が参加し、製造、建設、産廃、その他の業種別4グループに分けて討議、意見交換を行った。
- 4.エコアクション21認証登録事業者のうち、北九州市長から感謝状を授与する事業者を選考し、(有)アリタサービス、サンエス工業(株)、宮田建設(株)の3事業者に市長から感謝状が授与された。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.21広告5-6



株式会社 神垣組

神垣組(かみがきぐみ)は左官工事と、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。

■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残していきたいと考えます。



水辺の環境を浄化する
水草ポット
2000年・福岡産業デザイン
賞優秀賞を受賞した。



水質浄化効果を持つ環境保全型
壁掛けブロック、チャコケン
あさひ財団・日刊工業新聞社主催
第12回中小企業優秀新技術・新
製品賞で、奨励賞を受賞した。

代表取締役 神垣 三次

<http://www.kamigakigumi.co.jp/>

〒819-0165 福岡市西区今津5413-10

TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070



限りある資源を未来に 地球環境に貢献

株式会社コーセイジャパン

LCC(ライフサイクルコスト)の優れた省エネ!

当社は省エネ型電子安定器の開発メーカーです。照明の明るさを落さず35%~50%の省エネが可能な商品を取り揃えております。

低コストで長寿命(3年保証付)の安心省エネ!

またハロゲン代替用LED電球も販売開始しました。



蛍光灯の省エネに
ネオロックスP



84%
省エネ!

ハロゲンの省エネに
LEDビームランプ

〒800-0313 福岡県京都郡苅田町磯浜町1丁目16-9

TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141 <http://www.2e.biglobe.ne.jp/~neolux>

特別講演会

演題:「激化する国際競争に打勝つ中小企業の戦略」～超精密加工技術を生かした医療分野への進出～

講師: 株式会社 ワークス 代表取締役 三重野計滋 様

1. 会社紹介・製品紹介

当社は福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津にある精密金型部品加工会社です。自動車のハイブリッドカーなどに使用されるモーターコアや、半導体用のICリードフレーム用金型、携帯電話・デジカメ・スマートフォンに使用される光学レンズの金型も手がけ、ナノメートルオーダーの加工精度が要求される超精密加工メーカーです。

2. この業界での位置づけ

当社は、電子部品メーカー、金型メーカー、電気メーカーに製品を納入している。そのデジタル家電業界の、携帯電話、スマートフォン、タブレットの世界市場シェアの推移を見ると、以前は日本企業が占有していたが、最近では、韓国・台湾メーカー勢が大きく伸び、カーナビ、液晶、D-RAMなどのデジタル家電における日本企業の世界市場シェアは、下がる一方で深刻な状況である。日本の最先端技術や、技術者が海外に流出してしまっている。ひとつには技術のデジタル化が進み、模倣しやすくなったことが大きな問題である。さらに人件費の安い国での生産が加速し、海外メーカーとの競争力が激化するという構図になっている。また、最近では豊かになりモノがあふれている。今以上に必要になるものに何があるかを考えると、ある程度充足されており、新しいニーズを開拓するのが難しくなってきた。一方、経済環境では不安定で急変する為替で国内でのもの作りが難しく、少子高齢化で国内での働き手も減少、もの作りが海外に流れやすくなる構図になってしまっている。

3. これからのワークスが目指すもの

これまで、当社では技術の高度化で差別化を図ってきた。しかし高度化させても、顧客に必要とされなければ商売にはなかなか繋がらない。顧客目線に立ち、顧客ニーズからの新しいもの作りを考えることが重要と考えている。

そこで当社では今まで培ってきた微細加工技術を柱にして、「命」「食」「エコ」など、世の中の人々が求めるものに直結する技術・商品を研究していく。これらの研究は、今は小さなつぼみかもしれないが後々大きな花になる可能性がある。

その中でも特に「命」に係る分野として、医工学連携による事業の新規参入を急ぐ。

医療分野で、マイクロニードル、内視鏡カプセルに、精密加工技術を活かせることがわかった。医工学連携をキーとして、道を開き、産学官連携事業も盛んに行き、大学の先生の研究内容と連携していき新しい製品の商品化、実用化に繋げていく。

例をあげると、スーパー牛の飼育はこれまで長年を要しているが、今はDNAの研究が盛んになっている。DNAの抽出には、細かな道具が必要であり、こういった所で精密加工技術を活かせる取組がある。

また都市圏の展示会に積極的に出品して需要喚起、市場調査に今年は力を入れている。MEDTEC(医療の展示会)、BIOTEC(バイオの展示会)にもマイクロニードル、カプセルなどを展示して市場調査を行い、顧客のニーズの掘り起こしなども行っている。

4. 公的機関、北九州テクノサポートへの要望

昨今の取り巻く環境は、豊かな社会、デジタル社会になった。反面、創造力が不足し、いわゆるアナログ技術がなくなった。デジタル技術が盛んになってアジアに模倣されアジアのもの作りがどんどん力強くなった。日本企業も海外に移転し、もの作りの中心がアジアという構図になった。

アップルやインテルがもの作りをしなくても世界を席巻できているのは、アイデア、創造力があつたからできた。それを支える技術は日本メーカーや、アジアメーカーを使えば、もの作りができたのだ。

一方最近では、ナノメートルマシンが日本からアジアへ輸出され始め、近い将来には、近隣のアジア諸国でもナノメートル加工が可能となり、日本が築いてきた優位性が崩れてしまうかもしれない。

それでは日本でのもの作りはどんなことに取組めば良いのか。彼らが思いつかないようなアナログ的な発想や創造力を駆使して新しいもの、新しい形のものを作ることや、自由で創造力豊かな人をつくっていくことが最も重要なことと思う。そのためには、国を挙げて企業を支援し、学校との連携、技能への支援、費用の支援などを強化すべきだ。

また幼少の頃からもの作りの価値観を育成し、想像力、発想力、自発力、達成力を育てる育成を、日本を代表するもの作りのまち北九州で行ってもらいたい。もの作りに触れる環境をつくるのが、北九州を元気にする一つの手段ではないかと強く思っている。ものを作る喜び、感動の経験が重要である。



新任理事の抱負と紹介

■ 藤崎正昭 新理事



大企業の縮小・撤退の所為か、年々数千人減の北九州市にあって、KTSの活動が企業の活性化⇒市の発展につながるよう、産・学連携、製品開発支援等の分野で経験を生かし、微力を尽くしたいと思っております。

■ 松尾民憲 新理事



ISO・EA21グループを担当します。特に“企業活動における役立つマネジメントシステム支援と価値ある普及”をモットーに運営していきたいと考えています。宜しくお願い致します。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■ 北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■ 賛助会員の広報コーナー

< 製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中 >
NPO-KTS四季報Vol.21広告7-8

**株式会社西井塗料産業**
NISHI PAINT INDUSTRY CO., LTD.
<http://www.nishii.co.jp/>

価値ある提案を通じて
産業の発展と生活文化の向上に貢献

〒812-0007
福岡市博多区東比恵3丁目4番6号
お問い合わせ ご質問・ご相談はお気軽にどうぞ
092-415-4518 eigybu@nishii.co.jp

**株式会社メタルテック**

金属製品、外装パネル、ルーバー
充電池工事、親水・防汚機能塗装工事
屋根塗装・病院工事・防音手摺工事・防カビ工事

光が当たらなくても、親水性発揮!!

雨が降るだけで汚れが落ちる
金属製防汚パネル

メタルウエットパネル
Metal Wet Panel

〒810-0012福岡市中央区白金1-9-3
Tel:092-523-1513 Fax:092-523-1532 URL <http://www.metaltech.jp/>
E-mail: metaltech@poplar.ocn.ne.jp

平成25年度 事業計画

■平成25年度 各支援Gr.の実施計画は、次のとおり。

1.産学連携支援Gr.

地域の中小企業ニーズにマッチした産学官連携活動支援事業を展開する。

- (1) 企業の技術ニーズに基づき大学・公設試のシーズ調査・探索を行うと共に必要に応じて新たな研究開発の企画への支援を推進する。
- (2) 競争力ある企業、成長力ある産業、活力ある地域を指して北九州地域が持続的な発展を続けていくため、大学界と産業界、教育分野と地域社会が支え合いながら推進している『北九州地域産業人材育成フォーラム』への積極的な支援を行う。
- (3) 中小企業の隠れた得意技術を発掘し公的資金(ものづくり開発・試作等)の利用に関する補助金・助成金等申請業務の指導・支援を行う。
- (4) ものづくり中小企業のための技術・経営支援活動
北九州商工会議所のアドバイザー制度へKTS会員の登録を行い、人脈や専門性を活かして新しい「ものづくり中小企業育成支援戦略」(新事業・製品開発、環境省エネ、特許等の総合育成と競争力強化)に協力支援する。

2.環境技術支援Gr.

環境・バイオ・省エネ企業が多数出展する中小企業テクノフェアのビジネスマッチング支援、環境・省エネを中心とする団体との協力および商工会議所などの相互協力の新たな活動を行う。

- (1) 今年の「中小企業テクノフェア in 九州2013」は「エコテクノ2013」、「再生エネルギー先端技術展2013」、「九州国際テクノフェア2013」を加え4つのフェアが同時開催となる。
- (2) 関係他団体との交流・協力
北九州市環境推進会議やまだまだ模索中の北九州ベンチャー・イノベーション・クラブ(KVIC)、エネルギーマネジメント協会(ENEA)そして北九州環境ビジネス推進会(KICS)などとの交流から協働・協力への実現活動を行いたい。

3.ISO・EA21支援Gr.

地球温暖化防止は全世界的に重要な課題であり、北九州市、福岡県と協働して環境経営システムの取組拡大に貢献するとともに、国際規格の認証取得等の支援、及びエコアクション21の普及、認証取得に向けた活動を「EA21地域事務局 福岡」と連携する中で活発に展開する。また、ISO等に関する経営システムの導入や維持についても支援を推進する。

- (1) 品質、環境等の国際規格の認証取得及び維持・運用に関するコンサルティングについて、ニーズ情報の収集、単価・工数・内容を見直すなど対応策を立て支援受託につなげる。
- (2) 「EA21地域事務局 福岡」が主催するエコアクション21実践講座などの地域事務局と協業した活動、及び業界団体などと連携した普及活動を活発に行うとともに、審査人の相互研鑽等、レベル向上を目指した研修を企画・推進する。

4.IT支援Gr.

主に中小企業に提供できるIT支援事業を抽出し、個別の中小企業への活動に加え工業団地等へのIT支援事業を展開する。

- (1) Excelを活用した業務改善支援等のIT課題の発掘・解決を推進する。
- (2) 中小企業・小規模事業者へのホームページ作成支援事業を推進する。

5.販売支援Gr.

中小企業が開発した独創的かつ新規性のある環境やエネルギー面で有益な特徴的製品について、KTS会員の豊富な人脈と技術力を活用して、北九州市地域を中心に全国的に販路開拓・拡販を支援すると共に必要に応じて製品改良の提案をし、委託先や関係機関と連携推進して地域の産業を活性化し、我が国の経済の活力を高めることに些かなりとも貢献していく。

6.広報支援Gr.

NPO法人北九州テクノサポートの認知度を高めるための広報誌「NPO法人北九州テクノサポート通信」を年2回作成。また、今年度はKTS発足11年目のスタートで初心に帰り自治体等の各機関・業界団体・組合・企業等への広報活動を展開する。

エコアクション21地域事務局福岡

- ①EA21自治体イニシアティブ・プログラムとして、北九州市実践講座及び福岡県集合コンサルティングを開催する。
- ②EA21関係企業グリーン化プログラムを開催する。
- ③上記の参加事業者の募集を含め、EA21の普及活動を積極的に進める。そのため、それぞれのプログラムに合わせて、EA21導入セミナーを開催する。
- ④EA21認証・登録審査業務を円滑に推進する。(事業者へ審査申込の案内、審査人選任、判定委員会での認証・登録可否の審議、中央事務局への報告・対応など)
- ⑤EA21九州・沖縄ブロック地域事務局主催による、審査人力量向上研修会を開催する。
- ⑥EA21認証取得事業者フォローアップセミナーを開催する。
- ⑦EA21認証登録事業者のうち、北九州市長から感謝状を授与される事業者を選考し、市へ上申する。

注) EA21:エコアクション21の略

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.21広告9-10



おかげさまで
生誕100年
CHIGUSA 2014
“2014年に生誕100周年を迎えます”

千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>



MATSUSHIMA MACHINERY
LABORATORY 製品情報

- レベルメータ
- レベルスイッチ
- 粉体測定機器
- コンベヤ周辺機器
- 制御機器
- アクチュエータ

代表取締役社長 松島 徹

株式会社 **松島機械研究所**

本社 北九州市八幡西区大字則松461 〒807-0831
■TEL 093-691-3731 ■FAX 093-691-3735
■<http://www.matsushima.co.jp>

■完全国産化した、パルスレーダー式マイクロ波レベル計

平成25年度 活動開始状況

■北九州産業人材育成フォーラム3年目を迎え積極協力支援

平成23年4月に発足した北九州産業人材育成フォーラムも3年目を迎え下記3事業が軌道に乗り順調に活動を展開しており、KTSとしては企画部会のメンバーとして参画するとともに(1)、(2)の事業について積極的に協力し推進しております。

- (1)高度人材育成プログラム(地域連携型インターンシップ事業)――次項参照
- (2)社会人育成プログラム(中堅・中小企業の中核技術者及び経営管理者対象)
- (3)青少年育成プログラム(北九州市における青少年(小・中・高)を対象にした早期工学教育の地域システムの構築と体系的運営体制の整備)

特に(1)については次項に記載の通り、今年度は早期にスタートし、メンバーも増員してインターンシップ受入れ企業の開拓に力を入れている。

なお、本年6月3日に「H25年度第1回推進会議・第1回企画部会 合同会議」(於北九州国際尾会議場)があり開催に先立って、北九州市の産業経済局長 西田幸生氏より「北九州市新成長戦略」の概要説明が行われた。(石川)

■長期インターンシップ受入れ企業開拓推進

本事業も3年目を迎え、インターンシップにエントリーする学生が大幅に増加することを想定して、今年度は1か月前倒し3月よりスタートした。

また、KTS会員も12名体制で北九州市周辺までエリアを拡大し230社の企業を訪問し受入れ企業開拓を推進している。

既にインターンシップ受入れ企業83社が登録され、4校の学生に情報公開されており準備が着々と進んでいる。

また、6月1日には、4校の学生に対して「インターンシップ・ミーティング」が九州工業大学(戸畑キャンパス)百周年中村記念館で開催された。



北九州地域産業人材育成フォーラム企画部会委員長鹿毛博之先生による「開会の辞」に続き企画委員佐藤明史氏による「インターンシップの意義と参加にあたっての心構えについて」の講和が行われた後、8つのグループに別れて学生と参加企業担当者との相談会、自由討議、意見交換等が行われた。(重藤)

(学生の参加94名、参加企業13社、KTSコーディネーター9名)

■「ものづくり中小企業の試作・開発補助金」の審査に協力

「平成24年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」申請書の福岡県における技術審査依頼があり、北九州テクノサポートから8名の審査員が参画して協力した。

第一次応募として275件の補助金申請書を審査し、第二次応募の審査を7月下旬に行う予定です。

本事業を通じて、福岡県内の元気な中小企業やその開発課題について確認できたことにより、今後中小企業の新製品開発・補助金申請・共同研究・ものづくり等の実質的な支援をしていきたい。(山本)

■「北九州テクノフェアin九州2013」ビジネスマッチング キックオフ

本年も昨年に引き続き(公財)西日本産業貿易コンベンション協会より10月16日～18日開催される「中小企業テクノフェアin九州2013」のビジネスマッチング支援事業の依頼をうけた。

今回は例年の「エコテクノ展」の他、「再生可能エネルギー先端技術展」、「九州・国際テクノフェア展」も同時開催となり本館・新館を利用しての大きな展示会になる予定です。

また、中小企業テクノフェアについては、2009年以来5回目の支援事業であり、支援規模も昨年の1.5倍になっているが、ビジネスマッチングの実績をさらに高める必要があります。

去る6月11日のキックオフミーティングでは、新規6名を含め18名のコーディネーターが参画することになり、北九州テクノサポートとしてビジネスマッチング支援事業への実力発揮と実質的な成果が強く期待されます。

(藤原利久・山本・吉開)



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.21広告11-14

GL PIPE JOINTS 好評です

GASKETLESS管継手

■パッキンのいらない



新製品賞
'99中小企業
優秀新技術新製品賞

福岡県知事賞
中小企業先端技術展
福岡県知事賞

■北九州市八幡東区西本町4-5-1

TEL:093-681-7195/FAX:681-7196

E-mail:pd-otsuji@daiso.bz

URL <http://www.daiso.bz/>

口ご質問・お問い合わせは→専用FAX:093-681-7197

The Creative Corporation
株式会社 大創

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で 世界をリードする金型専門メーカー

高品質の金型を世界へ



Uchida Co., Ltd.
株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 末男

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38
TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146
本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6
TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839
E-mail: info@uchidanet.co.jp
URL: <http://www.uchidanet.co.jp>



微美 創造企業 MEMS SOLUTION

【事業：超精密金型部品の製造】

我々は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか?」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。

これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。



株式会社ワークス 代表取締役 三重野計滋(みえの けいじ)

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 TEL:093-291-1778 Fax:093-291-2728
E-mail: info@wks-co.com <http://www.wks-co.com>



ミーム
(未夢)



道路トンネル検査重点検査専用車両



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL:093(642)8231
FAX:093(641)2010
<http://www.keisokukensa.co.jp>

株式会社 有菌製作所

6月16日に重藤・山本両理事がJR八幡駅前の本社工場を訪問し、有菌代表取締役にお会いして医療・福祉機器に関するお話を長時間に渡りお聞きした後、工場見学をさせて頂きました。

■会社の沿革と業況

明治43年八幡春の町で創業し西本町に移転した後、事業拡大に伴い平成14年には東田に新社屋を建設し移転しました。創業時は義肢製作・修理からスタートしましたが、現在は障害者・高齢者を対象に義肢装具・車椅子・歩行器・姿勢保持装置・リハビリ用機器等の医療・福祉機器事業へ広がってきています。また、平成17年にISO13485を取得して機器の信頼性向上に努めているし、製造の合理化として設計用ドロッパーと運動したNC布裁断機の導入や3Dプリンタによるオーダー品への対応など作業の効率化を進めています。一方手作業でしか出来ない作業は、作業者の技能向上に力を注いでいます。



■今後の展開

効果的な素材の活用や福祉機器のロボット化には、大学の先生と共同研究に取り組んでいるし、商品の価値を高めるデザインを外部に委託している。次に、東南アジアの人との交流を深めたいため技術指導に取組んでいるし、将来欧米への海外進出可能性を探るためロスアンゼルスに駐在所を開設した。また、コスト低減として輸入品を自社製にするため立体ベンダーを導入する計画や廃棄石膏の再利用など生産の合理化や省エネをさらに進めています。

■KTSへの期待

今後もいろいろな面で是非ご協力を頂きたいと思っています。



株式会社 神垣組

6月18日石井理事が新建材に囲まれた本社工場を訪問し、神垣社長から懇切丁寧なお話を伺いした後、立派な工場を見学させて頂きました。

■会社の沿革と業容

当社は事業を通じて社会に貢献し、常に自信とプライドを持って商品を提供する企業であり、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で次世代へ継承することを理念としております。

福岡市で左官業を開始。左官の技能向上・組織強化に努め、大いなる信頼を得て、順調に業務を拡大して来ました。

その後、建築様式の変化で左官が必要な壁が乾式に代わり、仕事が減り、売上高も伸びませんでした。そこで新しき分野への進出を模索し、試行錯誤を重ねて開発した新建材となる製品を送り出しました。



■特に屋上緑化等に関する技術開発

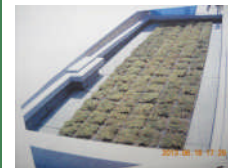
1. ヒートアイランド現象の抑制/ビルの屋上、道路の分離帯、護岸帯の緑化
2. メンテナンスフリー/施水・施肥・剪定不要 (例 芝桜)
3. 軽量化 (30kg/m²以下に成功)/産廃竹炭の有効活用

■今後の展開

技術開発結果、量産体制を確立し、地球温暖化の抑制に貢献したい。若年技能者を育成し、当社特有の技術と開発マインドを伝承させていきたい。

■KTSへの期待

KTSの皆様には更に製品説明等をさせて頂きながら、特に営業力が十分でないために幅広い関係先紹介・組織力でのご支援を期待しています。



施工例:

←屋上緑化 シバザクラ
大きさ
300×300×40



◇会社概要

- 本 社: 北九州市八幡東区東田1-7-5 TEL: 093-661-1010
 - 代表者: 代表取締役 有菌 央
 - 設立: 昭和10年12月
 - 資本金: 4,000万円
 - 従業員数: 186名
 - 事業内容: 福祉・医療器具の開発・製造・販売
- 当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具等のサービスを提供。又、オーダー品の製作・販売(車椅子、姿勢保持装置、歩行支援器、装具等)

URL <http://www.arizono.co.jp>

◇会社概要

- 本社: 福岡市西区今津5413-10 TEL: 092-806-6070
 - 代表者: 代表取締役 神垣 三次
 - 設立: 昭和26年10月
 - 資本金: 2,300万円
 - 従業員: 62名
 - 事業内容: 炭入コンクリート・モルタル、新建材等の開発・販売
- 神垣組(かみがきぐみ)は左官工事と環境に配慮した新建材の開発・製造・販売を行う会社です。

URL <http://www.kamigakigumi.co.jp/>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■会員・賛助会員の会費

- ・正会員入会金: 5,000円/年会費: 5,000円
- ・賛助会員(法人)入会金: 10,000円
年会費: 20,000円/1口
- (個人)入会金: 5,000円
年会費: 5,000円/1口

■プラスα:「中小企業における製品開発資金調達について」

(国や地方自治体が行なっている中小企業向け施策「助成金・補助金」を利用していませんか?)

…新製品開発は、企業経営にとって重要な課題の一つです。そこで、皆さん方も良くご存知の助成金・補助金などの利用を考えて見ては如何でしょうか。新年度が4月からスタートしますが、この時期を皮切りに公募が始まります。応募するには即準備に取り掛かってください、公募が始まってからの準備では間に合いません。ただ、書類をつくるのが面倒だと思っている中小企業さんの方も多いのではないかと思います…?その時は、当NPO法人にご相談下さい。

⇒当NPO法人は、64名のシニア技術者集団です、その中から貴社ニーズに合った専門家が適切にサポート対応します。

編集後記

北九州テクノサポート通信のページを倍増し、内容を充実させました。地域の企業・大学・行政等の活動内容が出来るだけ分かりやすくするよう努力しました。会員並びに地域の中小企業・行政機関の方にも広く「北九州テクノサポート」をご利用下さるようお願い致します。

＜詳細情報は下記ホームページから＞

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受付中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート

会報「北九州テクノサポート通信Vol.21」

平成25年7月15日 印刷発行

●発行・編集: NPO法人北九州テクノサポート

北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8階806号室

TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: npo-kts@npo-kts.org

■重藤デザイン20130715-1400

